

19 年度地域密着型金融推進計画 取 組 み 状 況

平成 19 年 4 月～20 年 3 月

重点事項および具体的目標

	平成 19 年度目標	平成 19 年度実績
1 . 取引企業先に対する経営相談・支援機能の強化		
○ 帯同訪問による融資	2 0 件 2 億円	2 4 件 2 . 4 億円
○ 地元優良企業に対する低金利の無担保特別融資の取組み	1 件 1 0 億円	1 件 1 0 億円
2 . 事業再生に向けた積極的な取組み		
○ 病院再生による DIP ファイナンス	3 件 1 5 億円	3 件 1 7 . 8 億円
3 . 担保・保証に過度に依存しない融資推進		
○ スコアリングによるビジネスローンの取組み	1 1 1 件 2 億円	3 1 件 4 . 8 億円
4 . 中小企業の資金調達手法の多様化等		
○ 債権（売掛金）譲渡担保融資	2 0 件 2 億円	5 件 1 . 6 億円
○ 保証協会付融資	1 , 0 4 2 件 3 7 億円	6 0 8 件 4 6 . 5 億円

地域密着型金融推進計画の要約

項 目	具 体 的 な 取 組 み
1 . ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
(1) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	
CRD による経営診断の利用	● CRD によるスコアリング分析を利用することにより、取引先の経営改善項目を明確にし、企業価値を高める活動を行ないます。
取 組 状 況	● CRD によるスコアリング分析を活用したことから、表面的な財務状況（赤字、債務超過）のみに捉われることのない貸出審査の判断基準にたち取引先の支援を行なっております。 また、CRD により当組合職員の財務分析のスキルアップも図れており、取引先の企業価値を高める経営指導にも積極的に取り組んでおります。

	(2) 経営改善支援の取組強化	
	DIP ファイナンスの活用	● 地域経済を活発にする原動力である病院再生に向けた取組みを行ないます。
	取 組 状 況	● 病院再生DIPファイナンス支援実績は、3先・支援額 17.8 億円でありました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
	(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の徹底	
	スコアリングモデルの活用	● 無担保および第三者保証の不要なビジネスローンの活用を行ないます。 (貸付限度 20 百万円、期間 3 年)
	取 組 状 況	● 平成 19 年度の実績は、31 件・4.8 億円でありました。
	(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	
	債権（売掛金）譲渡担保融資の活用	● 売掛金債権を担保とする融資の活用を行ないます。
	取 組 状 況	● 平成 19 年度の実績は、5 件・1.6 億円でありました。
	新規融資案件相談窓口の設置	● 金融の円滑化を図るため新規案件の申込に対し取組方針を即日回答しています。窓口を開設して以来約 4 年半が経過し、かなりの実績と取引先の評価を得ております。
	取 組 状 況	● 平成 19 年度の実績は、 受付 364 件 54,985 百万円、 実行 264 件 33,989 百万円でありました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
	(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	● 利用者満足度アンケート調査の継続的な実施により、地域の利用者の資金ニーズや金融商品等の要望を集積し、商品開発等を行い地域経済への貢献を行ないます。 ● 地元商工会議所(東大阪市、松原市、藤井寺市、河内長野市、大阪狭山市、柏原市、羽曳野市、富田林市、大東市、堺市、堺市美原)との連携による会員への金融商品を継続して提供しております。
	取 組 状 況	● 高金利商品の要望多く、定期預金金利上乘せキャンペーン及び定期積金金利 1%キャンペーンを実施致しました。

		● 平成 19 年度は成果に結びつく事は出来ませんでしたが、今後各営業店の地元商工会議所との連携を図り融資推進を行います。
4 . 地域の利用者ニーズに応じた経営資源の投下状況		● 企業再生に対しては、民間企業のコンサルタントとの契約により、一定の成果を得ることができました。現在は、企業再生先の該当がありません。今後も、企業再生先があればプロジェクトにて検討してまいります。 ● 担保・保証に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の内部・外部の研修に積極的に参加しております。 ● 債務者については、アウトソーシング(帝国データバンクの企業概要資料の購入)を活用し融資推進に活用しております。
取 組 状 況		● 19 年度において企業再生のプロジェクトの実績はありませんでした。 ● 担保・保証に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の外部の研修に参加させました。 ・ 融資渉外研修会に 19 名 ・ 財務分析基礎研修会に 19 名 ● 債務者については、アウトソーシング(帝国データバンクの企業概要資料の購入)を活用し融資推進に活用しております。
5 . 態勢の整備		
(1) 人材の育成		● 総務部を主担部とし、全国信用組合中央協会研修所・大阪府信用組合協会において開催する研修に職員を派遣しております。
取 組 状 況		● 大阪府信用組合協会主催の研修会 ・ 新入職員研修会に 19 名 ・ 内部事務リスク管理研修会に 19 名 ・ 税務研修会に 18 名 ・ 債権管理回収研修会 19 名 ・ 融資渉外審査能力強化研修会に 19 名 上記の研修会に 94 名を参加させ、業務に関する能力の向上をさせました。
(2) 外部専門家との連携		● 前期までは、(株)ネット M&A コンサルティングファームと連携し「企業再生プロジェクト」による再生支援を実施し成果を上げることができました。今後も、再生企業があれば連携し再生を取組んでまいります。

取 組 状 況	● 医療法人を取引推進するにおいて 3 件・17.8 億円の実績を上げる事が出来ました。 今後企業再生支援について連携し再生に取り組めます。
6 . 中央機関・業界団体が有する各種業務支援・補完機能の活用状況	● 平成 17 年 4 月に「しんくみ生活総合センター」創設によるインターネットを活用した業界独自の情報提供システム「あのねット」の活用による組合員向け家計診断や企業向けビジネスマッチングの機能の活用を図ってまいります。 ● 平成 19 年度より大阪府信用組合協会の発行誌「しんくみビジネスサポート」掲載企業の参加による「第 1 回異業種交流会」に参加し、ビジネスマッチングに活用を図ってまいります。 ● 平成 19 年 10 月 1 日より責任共有制度が導入され、大阪府中小企業信用保証協会の講師派遣による研修会の開催を予定しております。
取 組 状 況	● 組合員向け家計診断及び企業向けしんくみのあのねット活用行動マニュアルを平成 20 年度からの活用に向けて現在作成中であります。 ● 平成 19 年 11 月 16 日第一回異業種交流会を開催信組 6 組から 55 社の経営者 63 名組合役職員 39 名参加企業の自社製品のプレゼンテーションし販路拡大先を求め盛んに交流会が催しされ成功裏に終了しました。 ● 平成 19 年 10 月から信用保証協会の責任共有制度が導入され、平成 19 年 11 月 17 日に次長研修会を開催致しました。